



堅実な愛され系

まや

日野から米子に通う高校1年生。まおちゃんとは同級生でいつもイチャイチャ。そんな彼女の夢は「公務員」なんだとか。未来の日野町職員にエールを！



毎日会えてた友だちに会えなくなるとか、寂しすぎる！地域の人にとっても、間近で若い人と触れ合えて、パワーもらえるんじゃないかな？

3 根雨駅が無人駅に!?

通勤や通学、そして観光と毎日多くの人利用しているJR根雨駅も利用者がいなくなれば、経費削減のため無人化されるでしょう。利用者にとっては、窓口がないため定期券などを購入する際は、町外の大きい駅に行かなくてははいけません。また、無人化されると駅の利用マナーが低下し、駅構内や周辺の環境が悪化する可能性もあります。



近くに「行きたい」って思える高校があるって、すごい魅力だと思います。みんなで「学校もまちももう一度活気ある姿にしていければいいかな。

私はこのまちが好き。まちの元気がなくなっていくのはやっぱり寂しい。だから、私は将来ここに残ってまちのために頑張りたいです。



5 若者の流出は終わりの始まり 負のスパイラルがまちを襲う

ふるさとへの愛着が持てず、若者の流出が進めば、やがて「担い手不足」「町内産業の衰退」「雇用の縮小」「地域の活力低下」を招き、若者の流出がさらに加速してしまいます。大げさかもしれませんが、地域に高校があることこそがまちの未来と直結しているのです。



高1神楽系女子

ゆい

「地元（日南町）に近く自然が豊か」「少人数教育や総合学科にあこがれた」と話す彼女は、日野高校郷土芸能部で荒神楽に熱中する毎日。

きらりと光らないまち、ひのになっちゃう!?

もし、日野町から日野高校がなくなったらどうなるか見てみましょう！ ※あくまで「想像」ですので、もっとほかにも影響が出るかもしれませんし、出ないかもしれません。皆さんの想像力を働かせてみてください。

1 まちから『アオハル』が消える!

15~18歳の人口: **98**人 ※H30.2.1現在
日野高に通う生徒: **149**人

15歳から18歳という、青春時代真っ只中。そして、未来の町を背負ってくれるはずの世代でもあります。当然、高校が無くなればいなくなります。若者の姿や声が響かない町になってしまいます。



これ、ヤバくない?!

2 まちを離れることも選択肢の一つに

米子の高校に通うための年間経済的負担: **9万3千円**
※JR根雨駅~米子駅間、定期月額7,780円として計算

親の勤務先が米子だった場合の通勤費: **16万8千円**
※自動車通勤(日野町~米子市)、ハイブリッド車、ガソリン代141円/ℓ、一人あたり月額14,100円として計算(広報ひの調べ)

親の時間的・経済的な負担を考えると、世帯ごと町外に転出することも選択肢の一つにあがってくるのではないのでしょうか。さらに、すべての子どもが高校・大学を町外で過ごすことになるため、ふるさとへの愛着が持てず、卒業後も地元に戻らない可能性が高くなります。

JK課期待の星

まお

「体力がなくて近場がよかった(笑)」と日野高校を選んだ理由を明かす黒板在住のまおちゃん。1年生ながらJK課の一員としても頑張ってくれています。



まお まや ゆい が考える

4 多い? 少ない? 6年後には今の半分に

2018年 **81**人
2024年 **40**人
日野郡3町の高校受験予定者(生徒数)

将来の生徒数をみると、6年後には今の半分になってしまいます。少子化が一番の原因ですが、この人数だけで高校を存続できないのは明らかです。日野郡以外や県外からも生徒を呼び込み、地域・学校・行政が手を取り合い、将来まちに住んでくれる・応援してくれる人材を育てていくことが大切ではないでしょうか。



日野に通う...日野から通う3人が勝手に妄想!??

もし明日、日野高がなくなったら...

当たり前な毎日が当たり前じゃなくなったらどうしますか? もし、このままじゃマズイ!と感じたとしても、今ならまだ間に合う! 地域と高校、生徒が手を取り合いまちを盛り上げるきっかけにしよう!